

第1学年 生活科（人権）学習指導案

1 主 題 伝え合い つながり合って ～ありがとうのきもちを とどけよう～

2 主題設定の理由（省略）

3 ねらい

○今までたくさんの人にお世話になっていることに気づき、感謝の気持ちを伝え合い、つながり合って生活しようとする態度を育てる。

4 指導計画（別紙）

5 本時の目標

（1）目 標

今までたくさんの人にお世話になっていることに気づき、感謝の気持ちを伝えようとする意欲を高める。

（2）普遍的な学習のテーマ 思いを伝える

（3）展 開

学習活動と予想される子どもの意識の流れ	指導上の留意点
1 これまでの学習を振り返り、本時の学習課題をつかむ。 ・ありがとうパーティーをしたね。 ・おいもの先生に「ありがとう」を伝えた。 ・喜んでもらえてうれしかったな。 ・まだたくさんのおいものがあるよ。お世話になっている人に届けたいな。	○ いもほりやありがとうパーティーの様子などを想起できるよう、写真を提示して本時の学習の方向づけをする。 ○ おいもの先生たちに感謝の気持ちを伝えた時に感じたことを発表できるようにする。
ありがとうのきもちを ひろげよう	
2 誰にありがとうの気持ちを伝えたいかを話し合う。 ・今まで私を育ててくれた家族の人に伝えたいな。 ・〇〇さんが言っていたように、2年生や6年生にもお世話になったよ。 ・雨が降っていても、通学路に立ってくれている見守り隊の人に伝えたいな。	○ お世話になったことを具体的に考え、どうしてお世話してくれたのか問い返すことにより、その人たちの思いに気づくことができるようにする。 （イ） ○ 自分の意見と同じところや違うところはどこか考えながら、友だちの意見を聞くようにする。
3 ありがとうの気持ちの伝え方を考える。 ・さつまいもを届けて食べてもらいたいな。 ・お礼の手紙を書きたいな。 ・歌のプレゼントをしたいな。	○ いろいろな伝え方があることを知らせ、それぞれの人に喜んでもらえる伝え方を考えることができるようにする。 （ウ）
4 本時の学習を振り返る。	○ 学習を振り返り、これからの学習の意欲を高める。

6 評 価

・今までたくさんの人にお世話になっていることに気づき、感謝の気持ちを伝えようとする意識が高まったか。 【価値的・態度的側面】（イ）

・自分の考えを話したり、友だちの考えを聞いたりすることができたか。 【技能的側面】（ウ）

4 児童の意識の流れと学習構成「伝え合い つながり合って ～ありがとうのきもちを とどけよう～」(21 時間)



※○は位置づけた児童の予想される意識の流れ

第1学年 自分をすきになろう！ 友だちをすきになろう！ (8月改訂版)

教科領域	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学年目標	① 基礎的・基本的な知識や技能を身につける。 ② 自分や友だちのよいところを見つけ、大切にできるようにする。 ③ 思いを伝えたり、聞いたりできるようにする。											
人権	学び合い つながり合って 「であいを大切に」											
国語	思いを伝え合い つながり合って 「見つけたよ いいところ」「ありがとうの気持ち」											
算数	助け合い つながり合って 「あいての気持ち」											
生活	国語											
道徳	算数											
特活	生活											
行事集会	道徳											
音楽	特活											
体育	行事集会 入学式 1年生をむかえる会											
図工	音楽 運動会 人権集会 くらぐも音楽劇 6年生を送る会											